

kaise



デジタル騒音計

取扱説明書

KG-70

カイセ株式会社

安全な測定をするために!!

本製品を安全にご使用いただくために、取扱説明書をよく読んでからご使用ください。取扱説明書内の△記号の付いている箇所は特に重要です。



この記号はIEC規格およびISO規格に定められている記号で、説明書をよく読んでから本製品をご使用くださいということを表しています。



警告

この表示はその内容を守らずに誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。



注意

この表示はその内容を守らずに誤った取り扱いをすると、人が負傷したり物的損害を発生させる可能性があることを示しています。

はじめに

このたびは、カイセのデジタル騒音計KG-70をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。本製品の十分な活用と安全な測定のため、取扱説明書はいつも手元に置き、よくお読みいただいたいたうえでご使用ください。

1. 包装内容の確認

製品包装の中には次のものが入っています。万一、不具合や付属品の欠品等がありましたら、販売店または弊社までご連絡ください。

- | | |
|----------------|----------|
| 1. デジタル騒音計本体 | 1台 |
| 2. 防風スクリーン | 1個 |
| 3. 電池(9V 6F22) | 1本(本体内容) |
| 4. 取扱説明書 | 1冊 |

2. 仕様

2-1. 一般仕様

- 表示板(LCD)
 - 数字表示：文字高11mm
 - 単位およびサイン：dBA, dBC, FAST, SLOW, MAX, MIN, HOLD, ☺, ⊖
- マイクロフォン：1/2インチエレクトレットコンデンサマイクロフォン
- 測定範囲：周波数重み特性[A特性] 30dB~125dB、[C特性]：30dB~125dB
- 表示更新速度：2回/秒
- 精度：±5dB
- 周波数範囲：31.5Hz~8kHz
- ダイナミックレンジ：50dB
- 分解能：0.1dB
- 入力オーバー表示：[OL]測定範囲の最上限を超えた場合に表示
[Lo]測定範囲の最下限を超えた場合に表示
- 時間重み特性：[FAST] 125ms、[SLOW] 1s
- 電池消費表示：電源電圧約7.2V以下で☺表示
- ディスプレイホールド：HOLDキーで表示値を固定
- オートパワーオフ：最終操作から約5分で自動的に電源オフ(解除可能)
- 使用温・湿度：5~40℃、80%RH以下(ただし結露のないこと)
- 保存温・湿度：-10~60℃、70%RH以下(ただし結露のないこと)
- 使用高度：2000m以下
- 電源：9V 6F22 電池1本
- 消費電流：通常時約12mA、バックライト点灯時約13mA
- 動作電源電圧範囲：約7.2V~9.6V
- 連続使用時間：約18時間
- 寸法・重量：193(H)×67(W)×44(D)mm(防風スクリーン除く)、約184g(電池含む)
- 付属品：防風スクリーン、電池(9V 6F22)1本(本体内容)、取扱説明書
- 別売付属品：1026キャリングケース

3. 安全測定と使用上の注意



警告

- ぬれた手で電池の取り付け、交換を行わないでください。感電の原因となります。
- 小さいお子様の手の届かない場所で使用、保管してください。
- 分解や改造はしないでください。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れてください。



注意

- 本製品を落下させたり、強い衝撃を与えないでください。
- 本製品は防水されていませんので、水に濡らさないでください。
- アルコールを含む液体で本製品をふかないでください。変色やひび割れの原因となります。
- 長期間使用しない場合は、電池を取り外してください。消費した電池を内蔵したまま放置すると、電解液が漏出して内部を腐食することがあります。
- 指定以外の電池を使用しないでください。
- 電池を取り付けるときは、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意してください。
- 電池を廃棄する場合は、プラス⊕・マイナス⊖端子にテープを貼るなどして絶縁状態にしてから「所在自治体の指示」に従って廃棄してください。

保管場所について

下記の場所には保管しないでください。

- 水のかかるところ
- 強い衝撃が加わるところ
- 気温-10℃以下60℃以上、湿度70%以上のところ
- 結露のあるところ
- 直射日光のあたるところ

4. 各部の名称と機能

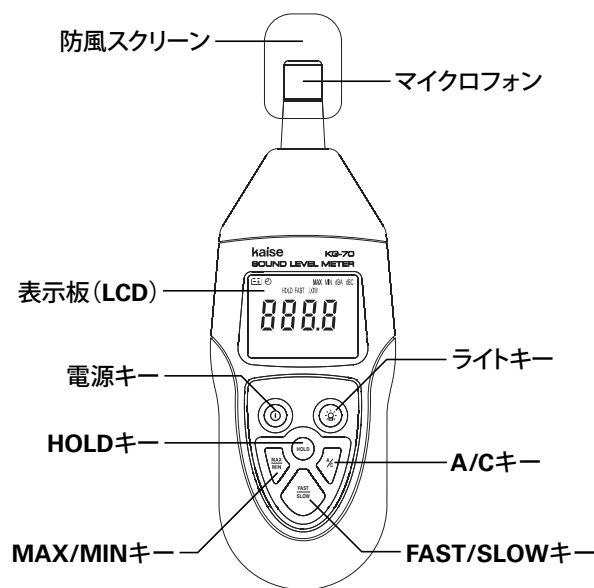


図-1

4-1. 表示板(LCD)

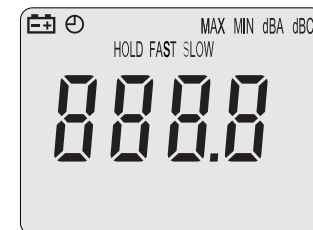


図-2

- ☺：電池消費時に点灯
- ⊖：オートパワーオフ機能有効時に点灯
- MAX：最大値測定時に点灯
- MIN：最小値測定時に点灯
- dBA：周波数重み特性A特性時に点灯
- dBC：周波数重み特性C特性時に点灯
- HOLD：ディスプレイホールド(表示固定)時に点灯
- FAST：時間重み特性FAST時に点灯
- SLOW：時間重み特性SLOW時に点灯

表示板(LCD)の表面に、表示例が印刷された透明保護シールが貼ってあります。ご使用前に右上のツマミから剥がしてください。

4-2. 防風スクリーン

風速が10m/secを超える際、風音による測定誤差を減少させます。

4-3. 電源キー

このキーを押すと電源が入り、再度押すと電源が切れます。

品質保証書

| | |
|-------------|---------------|
| MODEL KG-70 | Serial No. |
| 品質保証期間 | 購入日 年 月 日から1年 |
| 販売代理店および所在地 | |
| 印 | |

※品質保証期間中に正常な使用状態で、万一故障等が生じた場合は、裏面記載の品質保証規定により無償で修理いたします。

製品にこの品質保証書を添えて、上記販売代理店、または直接カイセ株式会社 製造サービス課へご送付ください。

※購入年月日は販売代理店が記入します。販売代理店名およびその押印なき品質保証書は無効となりますので、購入時に確認してください。

カイセ株式会社

〒386-0156 長野県上田市林之郷422 電話 0268-35-1600(代表)

4-4. ライトキー (バックライト機能)

このキーを押すと表示板(LCD)のバックライトが点灯します。再度押すと消灯します。

4-5. HOLDキー (ディスプレイホールド機能)

このキーを押すと表示板(LCD)の表示値を固定します。(“HOLD”点灯)
再度押すと固定が解除されます。(“HOLD”消灯)

4-6. MAX/MINキー (最大値/最小値測定機能)

このキーを押すと最大値/最小値測定を開始します。
通常測定 → 最大値測定 (“MAX”点灯) →
最小値測定 (“MIN”点灯) → 通常測定

4-7. A/Cキー (周波数重み特性切り換え)

このキーを押すと周波数重み特性を切り換えます。
A特性(dBA表示) → C特性(dBC表示) → A特性(dBA表示)
●A特性：人間の聴覚に近い周波数特性で、一般的な騒音レベルを測定する際に選択します。
●C特性：低周波帯域の騒音レベルを測定する際に選択します。
※C特性の測定値がA特性の測定値よりもかなり大きい場合、低周波ノイズが高いということになります。

4-8. FAST/SLOWキー (時間重み特性切り換え)

このキーを押すと時間重み特性を切り換えます。
FAST (FAST表示) → SLOW (SLOW表示) → FAST (FAST表示)
●FAST：通常の騒音レベルを測定する際に選択します。
●SLOW：変動する雑音の平均レベルを測定する際に選択します。

4-9. オートパワーオフ機能 (初期設定：有効)

最終操作から約5分で自動的に電源がオフになります。
※オートパワーオフ時および電源キーで電源をオフにした後もわずかに電流を消費します。
解除方法：FAST/SLOWキーを押しながら電源オン。(“⊕”消灯)

5. 測定方法

- ①電源キーを押して電源をオンにします。
 - ②測定対象に応じて周波数重み特性を設定します。A/Cキーを押してA特性(dBA表示)またはC特性(dBC表示)のどちらかを選択してください。(4-7参照)
 - ③測定対象に応じて時間重み特性を設定します。FAST/SLOWキーを押してFAST (FAST表示)またはSLOW (SLOW表示)のどちらかを選択してください。(4-8参照)
 - ④マイクロフォンを測定対象に向けます。
 - ⑤表示値を読み取ります。
- ※風速が10m/secを超える環境では、防風スクリーンを使用してください。風音による測定誤差が減少します。

- 表示値を固定したい場合は、HOLDキーを押してください。(4-5参照)
- バックライトを点灯したい場合は、ライトキーを押してください。(4-4参照)
- 最大値/最小値測定
通常測定時にMAX/MINキーを押すたびに、下記の順に測定モードが変化します。

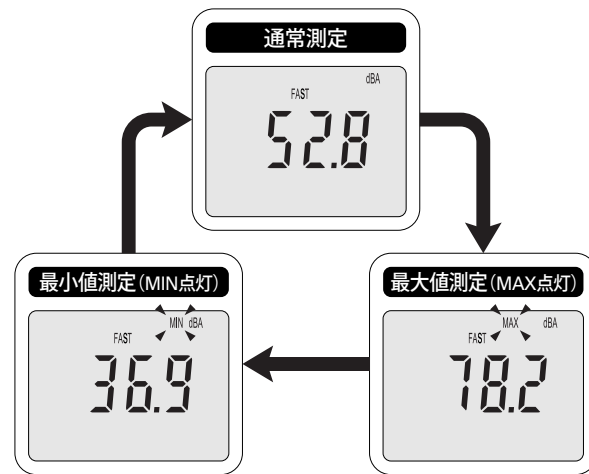


図-3

■騒音レベルの目安

| 騒音レベル | 音の大きさの目安 | |
|-------|---------------------|--------------|
| 120dB | 飛行機のエンジン近く | 聴覚機能に異常を起こす |
| 110dB | 自動車のクラクション(前方2m) | |
| 100dB | 電車の通るときガード下 | |
| 90dB | 大声による独唱、騒々しい工場内 | 極めてうるさい |
| 80dB | 地下鉄の車内(窓を開けたとき)・ピアノ | |
| 70dB | 掃除機・騒々しい事務所 | うるさい |
| 60dB | 普通の会話・チャイム | |
| 50dB | 静かな事務所 | 日常生活で望ましいレベル |
| 40dB | 深夜の市内・図書館 | |
| 30dB | ささやき声 | 静か |
| 20dB | 木の葉のふれあう音 | |

6. 保守管理

6-1. 電池の交換

警告

- ぬれた手で電池の交換を行わないでください。感電の原因となります。
- 電源は必ずオフにしてください。

使用している電池が消耗して表示板(LCD)に⊕が点灯したら、次の手順で電池を交換してください。

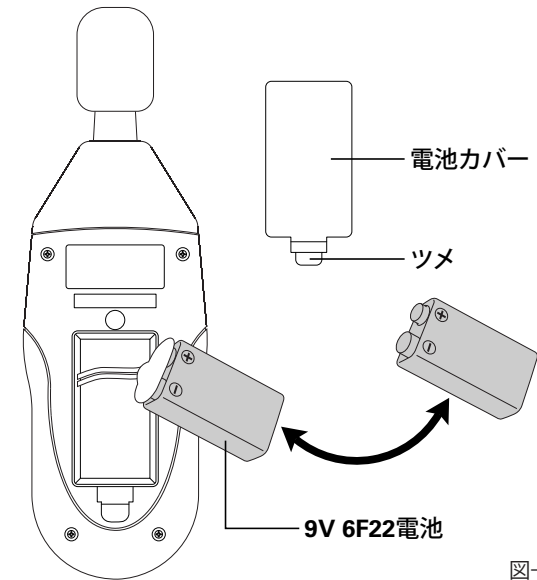


図-4

1. 測定を終了し、電源キーを押して電源をオフにします。
 2. 本体背面の電池カバーのツメを上押し、電池カバーを外します。
 3. 消耗した電池を取り外します。
 4. 電池の極性に注意して、新しい9V 6F22 電池1本を取り付けます。
 5. 電池を元の位置に戻し、電池カバーを取り付けます。
- ※付属の電池はテスト用電池です。新品よりも早く消耗することがありますのでご了承ください。

注意

- 長期間使用しない場合は、電池を取り外してください。消耗した電池を内蔵したまま放置すると、電解液が漏出して内部を腐食することがあります。

6-2. 定期的点検・校正

安全で正確な測定を維持するためには定期的な点検・校正が必要です。
本製品は、通常の使用で1年以上許容誤差内の精度を維持できるよう製造されていますが、少なくとも1年に1回は定期的に点検・校正してください。点検・校正は製造元へ依頼されるのが確実な方法です。

6-3. 修理

本製品が正常な動作をせず修理を依頼される場合には、事前に次の点検をして故障を確認してください。

1. 電池が接触不良となっていないか。電池の極性が間違っていないか。
2. 電池が消耗していないか。(消耗すると表示板(LCD)に“⊕”が点灯します。)
3. 測定入力为本製品の規定レンジ以内であるか。
4. 使用環境内における測定精度であるか。
5. 本体にひび、割れなど損傷がないか。

以上の点検を通して故障であることが確認できましたら、修理を依頼してください。
修理は販売店へ依頼されても結構ですが、弊社の製造サービス課へ直送されますと修理期間も短縮されます。直送される場合、品質保証書に購入年月日、販売代理店名および所在地が記入されているか確認し、または購入時のレシートを添え、「修理依頼」に故障の症状と原因を記入し、切り離して修理品と一緒に送ってください。この品質保証書の添付がないと、修理はお請けできませんので、ご了承ください。
お送りいただく小包には、「修理品在中」と記し、住所、氏名、電話番号も忘れずに明記してください。
修理完了後に代金引換小包便にて返送いたします。

お問い合わせ・修理品の送付先

カイセ株式会社

製造サービス課
〒386-0156 長野県上田市林之郷422
TEL (0268) 35-1602 / FAX (0268) 35-5515
Email : service@kaise.com

カイセ株式会社

- 本社
〒386-0156 長野県上田市林之郷422
TEL (0268) 35-1600 / FAX (0268) 35-1603
- 東京支店
〒103-0027 東京都中央区日本橋2-16-3
18山京ビル2F
TEL (03) 6225-2615 / FAX (03) 6225-2616

kaise
www.kaise.com

製品の仕様や外観は改良などのため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

品質保証規定

品質保証期間中に説明書に則った正しい使用状態において、万一故障が生じた場合には、無償で修理いたします。ただし、下記事項に該当する故障・破損は無償修理の対象から除外し、有償修理となります。

記

1. 取扱説明書に基づかない不適当な取り扱い、または使用による故障。
2. カイセ特約サービス代理店、または当社サービス部門以外でなされた修理または改造に起因する故障。
3. お買い上げ後の輸送または落下等によって生じた故障。
4. 火災、水害、地震等天災地変によって生じた故障・破損。
5. 消耗部品(電池等)の補充または取り換え。
6. 品質保証書の提出がない場合。
7. その他、当社の責任とみなされない故障。
8. 本証明書は日本国内においてのみ有効です。

| | | | |
|---------------------------|---|---|---|
| 修理依頼 | 年 | 月 | 日 |
| 故障の症状 故障の原因 (わかったら) | | | |